

2026年度 入学説明会

近畿大学 通信教育部

建築学部

オンライン学士プログラム

KINDAI UNIVERSITY | Distance Learning Department

目次

建築学部オンライン学士プログラム。本日も案内する内容です。

01

建築学部について

概要・実績／めざせる資格／通学制との違い

02

学びのスタイル

テキスト／オンデマンド／スクーリング授業

03

カリキュラム

科目構成／身につく技能／編入コース

04

学費・サポート

学費／必要な機材／給付金・ローン

05

入学資格・出願

入学資格／出願の流れ／スケジュール

06

施設・サポート・サービス

学修サポート／施設・サービス／FAQ



01

建築学部について

一級建築士の合格者数 西日本トップクラスの実績。完全オンラインで学べます。

通学制と通信制のちがい

通信制なら、履修の工夫で通学ゼロも可能。オンライン中心で「通学課程と同じ卒業資格」が得られます。

	通学制	通信制（近畿大学 通信教育部）
学ぶ場所	キャンパスへ通学が必要	✓ 自宅などどこでも 完全オンライン
学ぶ時間	決まった曜日・時間割に出席	✓ 24時間 いつでも自分のペースで
学費（卒業まで）	通学の建築系（数百万円規模）	✓ 4年間 約125万円（通学の約1/4～）
入学方法	入学試験あり	✓ 入試なし、書類選考のみ

VS

通学制と通信制のちがい ① 学ぶ場所



VS



POINT 履修科目の選び方しだいで通学ゼロ・オンラインのみでも卒業をめざせます。
(対面のみofスクーリングを選ぶ場合は会場参加が必要)

通学制と通信制のちがい ② 学ぶ時間



VS



POINT 通信制なら仕事や家事と両立しやすく、スキマ時間を有効活用できます。

通学制と通信制のちがい ③ **学費（卒業までの目安）**



通学制

数百万円規模

例：私立大の建築系で約500～700万円（4年間）。

VS



通信制（近畿大学 通信教育部）

4年間 約125万円～

1年次入学 約125万円（4年）／3年次編入 約68万円（2年）。

POINT 建築学部オンライン学士プログラムは、通学の建築系学部より費用を大きく抑えられます。

通学制と通信制のちがい ④ 入学方法



VS



POINT 通信教育部は入学試験なし。書類選考のみで、学びたい方に広く門戸が開かれています。

建築学部オンライン学士プログラム

卒業 + 指定科目60単位以上の修得で、一級建築士の受験資格。オンライン中心で建築を本格的に学べます。

一級建築士合格者数累計

1,756 人

西日本 第1位

2025年3月31日現在・平成16年以降

※通学制の実績



オンライン中心・通学ゼロも可能



入試なし・書類選考のみ



1年次入学・3年次編入に対応

在学中・卒業後にめざせる資格

卒業 + 指定科目の修得で一級・二級建築士の受験資格。さらに関連する幅広い資格にも挑戦できます。

卒業で「受験資格」が得られる

1
級

一級建築士

指定科目60単位を修得して卒業すると、実務経験なしで受験可能（免許登録は合格後に実務2年以上）。

2
級

二級建築士

指定科目40単位を修得して卒業すると受験可能（合格後、実務経験なしで登録できます）。

◆ 関連資格の受験要件は各実施団体により異なります。

建築学部に関連の深い各種資格

- **建築系**
木造建築士 / 建築設備士 / 特定建築物調査員 / 建築積算士
- **施工管理**
建築施工管理技士（1・2級） / 管工事施工管理技士（1・2級）
- **不動産**
宅地建物取引士 / 不動産鑑定士 / 土地家屋調査士
- **技術・測量**
技術士・技術士補 / 測量士・測量士補

02

学びのスタイル

テキスト・オンデマンド・スクーリング。3つの方法で学びます。

学習方法について

3つの授業方法を、自分の生活に合わせて組み合わせて学びます。



テキスト授業

教科書を読み、レポートを提出して、科目終末試験を受ける科目。WEBで完結。



スクーリング

講義室またはWEBで、決められた日時に授業を受ける学修方法。



オンデマンド授業

動画講義を、受講期間内に自分のペースで視聴する学修方法。

テキスト授業 | 4つの開講形式

教科書で自学自習し、レポートと科目終末試験（または課題）で単位を修得します。

形式	学びの流れ	対象科目（例）
RE	レポート（記述） + 科目終末試験（記述）	総合科目・語学
CR	レポート（記述） + 科目終末試験（選択）	専門（建築計画総論 ほか）
CT	確認テスト（選択） + 科目終末試験（選択）	専門（建築法規・日本建築史 ほか）
RD	製図科目レポート + 製図科目課題	製図科目

基本の流れ 教科書を読む → レポート／確認テスト → 科目終末試験 → 単位修得（科目終末試験：総合・語学 年4回／専門 年6回）

テキスト授業の流れ

教科書で学び、レポートと試験に合格して単位を修得します。



WEBで完結 レポートと科目終末試験の両方に合格して、単位を修得します。

オンデマンド授業 | 2つの開講形式

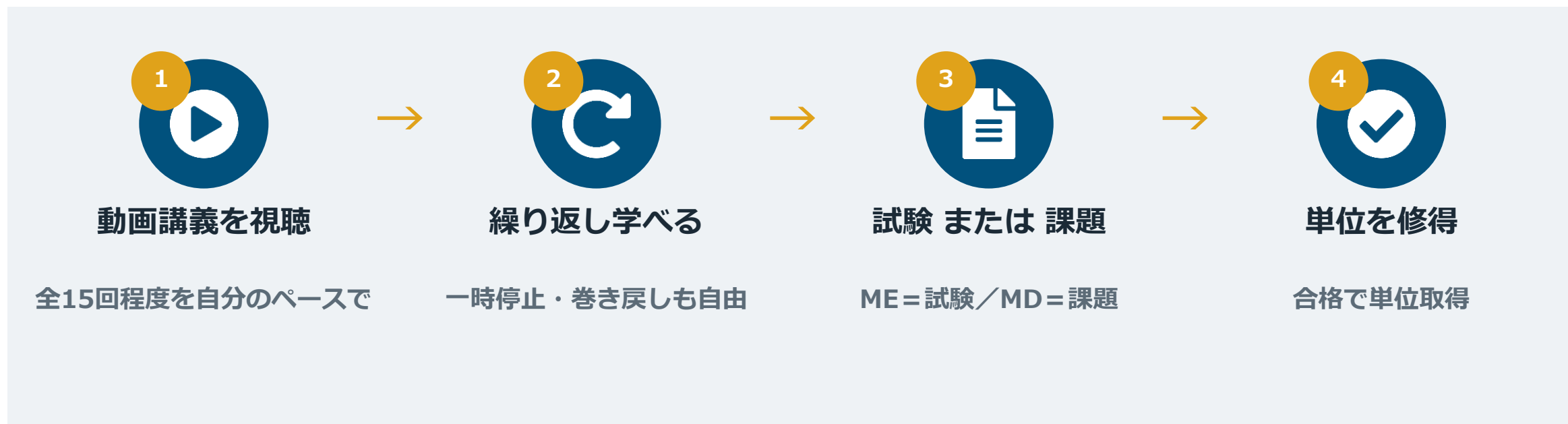
オンデマンド授業には、試験で修得する ME と、課題で修得する MD の2つの形式があります。

形式	学びの流れ	対象科目 (例)
ME	講義動画を視聴 + 単位修了試験 (オンデマンド試験)	構造力学・建築デザイン論・総合科目 (OD) ほか
MD	講義動画を視聴 + 課題提出	デザイン演習 (I-1・I-2)

ME と MD のちがい ME は学修の最後に試験 (オンデマンド試験)、MD は課題提出で単位を修得します。

オンデマンド授業の流れ

動画を視聴し、繰り返し学びながら、試験または課題で単位を修得するまでの流れです。



**試験（ME）または課題（MD）の合格で単位を修得
動画は受講期間内に繰り返し視聴でき、理解できるまで学べます。**

スクーリング | 3つの開講形式 (SF・SO・SS)

遠隔または対面で、設計演習や語学などに取り組みます。土日を使った3日間（各日 9:00～17:30）。

形式	学びの流れ	対象科目（例）
SF	オンライン（初回） + 対面（2・3回目）	製図科目（建築デザイン演習 ほか）
SO	オンライン（全3回）	製図科目（建築デザイン演習 ほか）
SS	対面（全3回）	語学・健康スポーツ科学

ポイント 土日中心の3日間・各日 9:00～17:30 / 製図科目はSO（全オンライン）を選べば通学不要。

スクーリング | SF・SO・SS

製図演習はSF（一部対面）かSO（全オンライン）を選べます。対面が必要なのはSFとSS、会場は東京・大阪・福岡。土日を使った3日間（9:00～17:30）。



【SF】

オンライン（初回）+対面
（2・3回目）

対象：製図科目

【SO】

オンライン（全3回）

対象：製図科目

【SS】

対面（全3回）

対象：語学・健康スポーツ科学

スクーリング | 3日間の進め方 (SF・SO)

1日目 (オンライン)



午前：課題レクチャー
午後：課題制作

約2週間～1ヶ月



課題を作成して事前に提出
※未提出は2・3日目に参加不可

2日目・3日目



【SF】教室で対面

会場 東京・大阪・福岡



【SO】オンライン

自宅などから受講 (会場なし)

2日目・3日目はエスキス→課題制作→発表・講評・ディスカッション

授業時間 9:00～17:30 (3日とも) / 遅刻・早退・欠席は厳禁。欠席時は次回開講で再履修できます (SF・SO共通)

03

カリキュラム

卒業要件124単位。一級建築士の指定科目60単位以上を学びます。

専門科目で身につく技能

設計・製図からCAD・模型制作まで、実践的なスキルが身につきます。



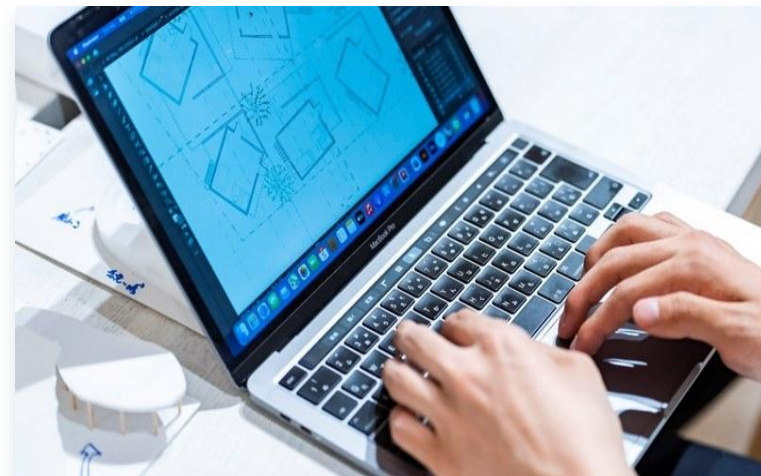
製図ができる

手描き製図の基礎から、建築設計の考え方までを実践的に学びます。



模型を制作

アイデアを立体で表現。スクーリングで講評・ディスカッション。



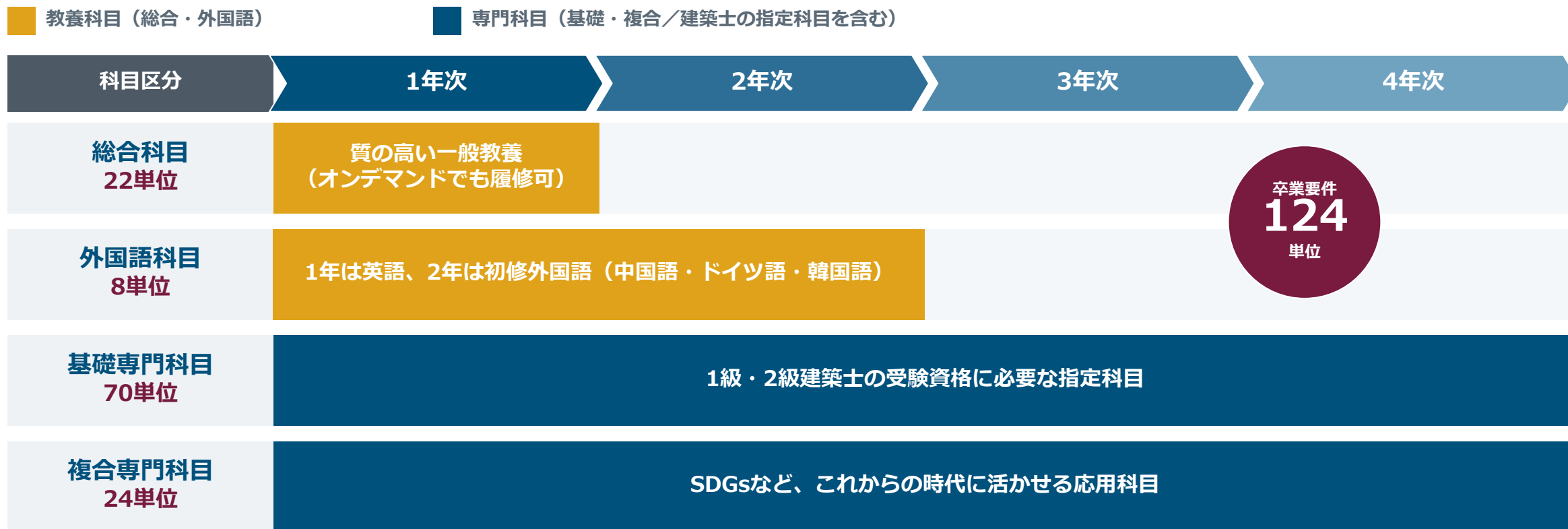
CADを習得

AutoCAD (CAD演習)・Rhinoceros (デザイン演習)で図面・3Dを作成。

◆ 構造力学など数式を用いる科目は、オンデマンド授業で繰り返し視聴でき、理解が深まります。

カリキュラム構成（1年次入学）

科目区分ごとに、いつ・どれだけ学ぶかを示しています。



単位数は履修モデルでの目安です。各学年の科目数の目安は、このあとの「履修モデル」をご覧ください。

カリキュラム構成（3年次編入）

入学時に52～60単位を認定（前籍校の修得状況により異なる）。3～4年の2年間で、専門科目を中心に学びます。

■ 認定（前籍校で修得済・履修不要）

■ 近畿大学で履修

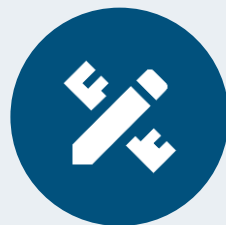
科目区分	3年次	4年次
総合科目	認定（最大24単位・履修不要）	卒業要件 126 単位
外国語科目	修得済科目に応じて認定（最大8単位／不足分のみ履修）	
基礎専門科目	一部を認定（28単位）	受験資格の指定科目を履修（60単位）
複合専門科目	SDGsなど、これからの時代に活かせる応用科目を履修（6単位）	

◆ 2年間で専門科目を66単位修得すると、卒業要件126単位を満たします。

※ 大学等で外国語科目を8単位以上修得していない場合は、外国語科目の履修が必要です。一級建築士は指定科目から60単位以上の修得が必要。単位数は目安です。認定単位は学歴・前籍校により異なるため、出願前の個別確認をおすすめします。

3年次編入学のコース選択

出願時に3つのコースから選びます。デザイン・エンジニアリングは一級建築士の受験資格取得を想定した履修モデルです。



建築デザインコース

一級建築士をめざす方向け。設計演習科目が多く、建築設計・製図に興味がある人に。



建築エンジニアリングコース

一級建築士をめざす方向け。構造・環境など工学分野の科目を多く学びます。



自由選択コース

一級建築士の受験資格取得を目的としない方向け。関心に合わせて科目を選べます（指定科目を修得すれば受験資格の取得も可能）。

◆ コースは **出願時** に選択します。出願前に必ず入学要項で各コースの詳細をご確認ください。

※ カリキュラムは変更予定です。最新情報は入学要項・ホームページをあわせてご確認ください。

コース選択ガイド（3年次編入）

関心のある分野から、自分に合うコースを選べます。コースは出願時に選択します。

「設計・空間デザイン・住宅・店舗・意匠」に関心がある方



建築デザインコース

一級建築士の受験資格に対応（設計演習が多い）

「構造・環境・施工・設備・技術系」に関心がある方



建築エンジニアリングコース

一級建築士の受験資格に対応（工学分野が多い）

「資格より、建築の知識を仕事・教養に活かしたい」方



自由選択コース

指定科目を修得すれば受験資格の取得も可能

※ 入学後のコース変更はできません。ただし、他コースの科目は「追加履修」で学べます。

建築学部 1年入学 | 卒業までの履修モデル

卒業要件 124 単位

T = テキスト授業

S/O = スクーリング・オンデマンド授業

科目区分	1学年	2学年	3学年	4学年
総合科目	T 12 単位 S/O 10 単位	—	—	—
外国語科目	T 2 単位 S/O 2 単位	T 2 単位 S/O 2 単位	—	—
基礎専門科目	T 10 単位 S/O 4 単位	T 14 単位 S/O 4 単位	T 18 単位 S/O 4 単位	T 12 単位 S/O 4 単位
複合専門科目	T 2 単位 S/O 2 単位	T 2 単位 S/O 6 単位	T 0 単位 S/O 6 単位	T 2 単位 S/O 4 単位
各学年の合計	T 26 単位 S/O 18 単位	T 18 単位 S/O 12 単位	T 18 単位 S/O 10 単位	T 14 単位 S/O 8 単位

※ 複合専門科目には自由選択科目（専門科目から選択）を含みます。

建築学部 3年次編入 | 建築デザインコース

卒業要件 126 単位
(内 52~60 単位は認定)

T = テキスト授業

S/O = スクーリング・オンデマンド授業

科目区分	3学年	4学年
基礎専門科目	T 22 単位 S/O 10 単位	T 22 単位 S/O 6 単位
複合専門科目	T 0 単位 S/O 2 単位	T 0 単位 S/O 4 単位
各学年の合計	T 22 単位 S/O 12 単位	T 22 単位 S/O 10 単位

- 入学時に52~60単位を認定（例：総合24+外国語8+基礎専門28）。認定数は前籍校により異なります。

建築学部 3年次編入 | 建築エンジニアリングコース

卒業要件 126 単位
(内 52~60 単位は認定)

T = テキスト授業

S/O = スクーリング・オンデマンド授業

科目区分	3学年	4学年
基礎専門科目	T 24 単位 S/O 10 単位	T 22 単位 S/O 4 単位
複合専門科目	T 0 単位 S/O 2 単位	T 2 単位 S/O 2 単位
各学年の合計	T 24 単位 S/O 12 単位	T 24 単位 S/O 6 単位

- 入学時に52~60単位を認定（例：総合24+外国語8+基礎専門28）。認定数は前籍校により異なります。

働きながらの学習量の目安

計画的に進めれば、働きながらでも卒業をめざせます。（下記は一般的なイメージです）

平日

夜などのスキマ時間に、週3～4日・1回1～2時間ほど。動画視聴・教科書・レポートを少しずつ。

土日

課題制作や動画視聴の時間を、まとめて確保すると進めやすくなります。

試験・提出前

科目終末試験・レポート提出・スクーリングの前は、学習時間が増えます。

スクーリング

土日中心の3日間（9:00～17:30）。参加には事前課題の提出が必要です。

ポイント：年間スケジュールを見ながら、無理のない履修計画を。1年間に履修できる単位数には上限（48単位）があります。

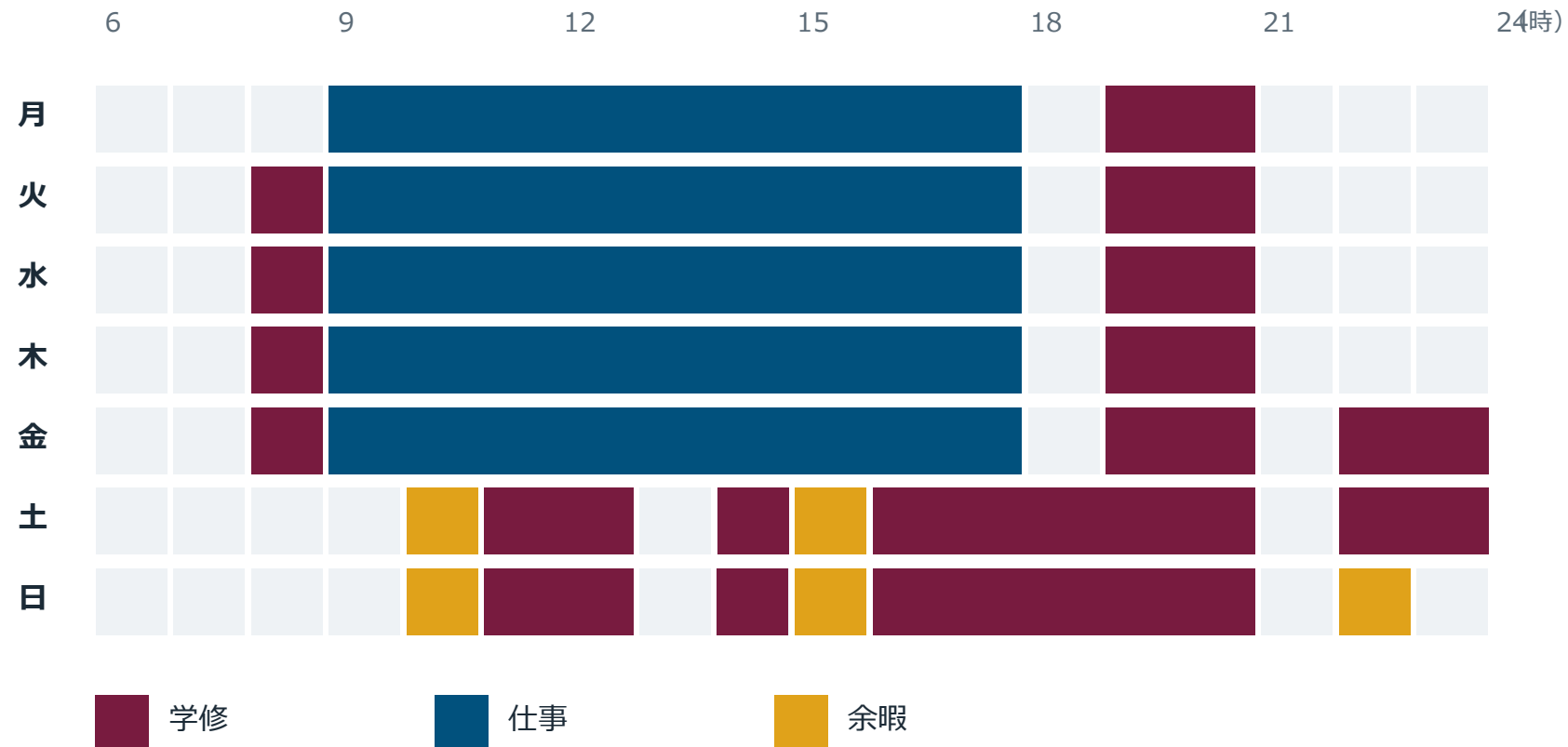
学習時間の例 | ある1週間のスケジュール



デザイン会社 事務職

仕事と両立

平日は夜のスキマ時間、休日に課題や動画をまとめて学習。



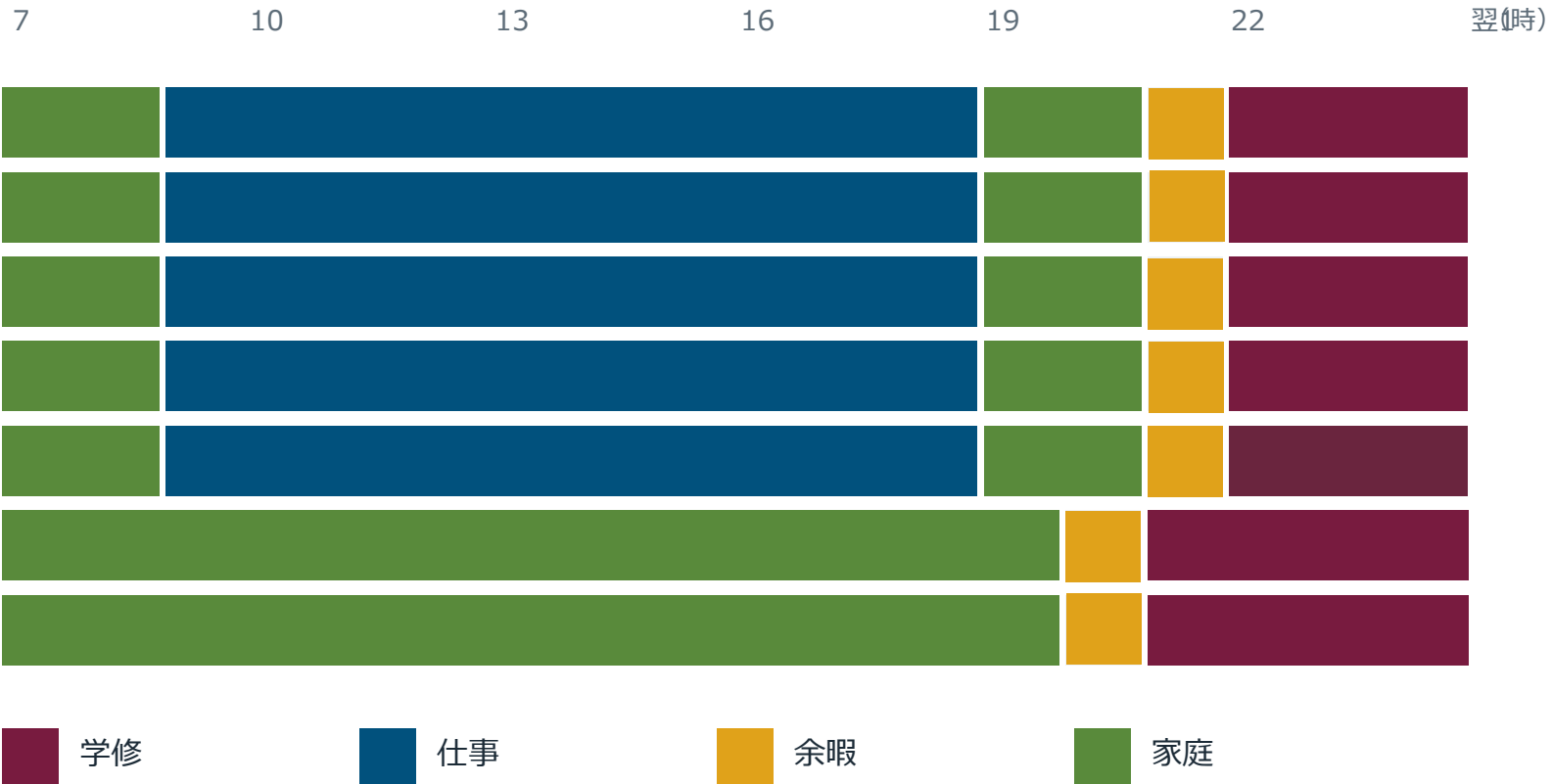
学習時間の例 | ある1週間のスケジュール



機械系研究職

家庭と両立

平日・休日とも、子どもが寝た後に学習時間を確保。



※ 家庭の時間を追加しています。

04

学費・サポート

通信制大学トップクラスの学費。無償化やローンにも対応。

学費 — 出願時に必要な経費

入学時にお支払いいただく経費です（授業料1年分を含みます）。

コース・区分	入学金	選考料	授業料（1年分）	出願時 合計
建築学部 1年入学	20,000	10,000	306,000	336,000円
建築学部 3年次編入	20,000	10,000	326,000	356,000円
特修生	20,000	10,000	100,000	130,000円

※ 2026年度入学の目安。金額は授業料1年分を含みます。

学びに必要な機材

オンライン学習と製図のため、下記の機材をご用意いただきます。



パソコン

推奨スペックは次のページ →



A2サイズ製図板

30,000～40,000円



製図用具一式

約20,000円



模型製作用具

約20,000円



Rhinoceros (3D-CAD)

39,600円・該当科目のみ

※ すでにお持ちの機材は購入不要。CAD演習で使うAutoCADは在学中無償です（Rhinocerosは該当科目のみ必要）。

パソコンの推奨スペック

快適に学ぶための推奨スペックです。これを満たすPCがあれば購入は不要です。



OS

Windows 11 / macOS 14 Sonoma 以降



CPU

Core i5 / Ryzen 5 以上



メモリ・ストレージ

8GB以上 / SSD 256GB以上



ディスプレイ

Full HD (CAD操作に有利)



Webカメラ・マイク

試験・授業で必須

学費以外に必要な費用の目安

建築では、学費のほかに機材・教材・ソフトの費用がかかります。

機材・用具（初期費用の目安）

- ・製図板（A2サイズ）：30,000～40,000円
- ・製図用具一式：約20,000円
- ・模型製作用具：約20,000円
- ・パソコン：新規購入の場合は別途
（推奨スペックを満たせば購入不要）

ソフト・教材

- ・AutoCAD（CAD演習）：在学中 無償
- ・Microsoft Office：在学中 無償
- ・Rhinoceros：39,600円 ※該当科目のみ
- ・教科書（オンデマンド・スクーリング）：
1科目 約4,000円 × 科目数

学費（1年次入学 4年で約125万円／3年次編入 2年で約68万円）に、上記の費用が加わります。

※ すでにお持ちの機材・PCは購入不要です。金額は目安で、変更される場合があります。

コース別 卒業までの目安経費（正科生）

入学から卒業までにかかる経費のおおよその概算です。

コース・区分	卒業までの目安経費
建築学部 1年入学	約 1,481,600 円
建築学部 3年次編入	約 798,000 円

奨学金・給付金などの支援

利用できる主な支援制度です。



高等教育の修学支援新制度

正科生が対象。家計基準を満たせば、入学金・授業料の減免と給付型奨学金の対象になります。



奨学金・教育ローン

通信教育部奨学金、日本学生支援機構（JASSO）奨学金、提携教育ローン（オリコ）が利用できます。

05

入学資格・出願

入学の条件と、手続きの流れ。

入学資格



1年次入学

- ✓ 高校卒業および同程度の学歴をお持ちの方



3年次編入学

- ✓ 大学・短期大学・高等専門学校を卒業、専門学校（専修学校
専門課程）を修了された方
- ✓ 大学に2年以上在学し60単位以上を修得された方

※ 出願期間など詳細は「入学要項」をご確認ください。

入学資格

大学入学資格がない方のための、進学への入口です。

特修生

大学入学資格認定コース

■ 大学入学資格がない方が対象

■ コース修了後、正科生として入学できる

ここから、大学進学へ

特修生
認定コースで学ぶ



正科生
として入学

高校卒業資格がない方も、4年制大学の卒業をめざせます。

出願から入学後までの流れ

出願はインターネットで完結。来校は不要です。



再入学（正科生）・特修生はネット出願ではなく、学生センターへお問い合わせください。
出願前に必ず「入学要項」をご確認ください。

インターネット出願の手順

- 1 必要な証明書を取得
- 2 本学ホームページから出願ページにアクセス
- 3 コースを選び、出願情報を入力
- 4 出願書類を印刷し、必要書類と一緒に郵送
次ページで詳しく ▶
- 5 経費を振り込む



出願はすべてWEBで完結。来校は不要です。

出願書類の郵送

「出願の手順」④の詳細

印刷した出願書類と各種証明書を、簡易書留で郵送します。



「書類一式」をそろえる



宛名シートを封筒に貼る



「書類一式」を封筒にまとめる



「簡易書留」で発送

書類一式

=

 入学志願書（印刷したもの）

 卒業証明書・成績証明書 など

出願スケジュール

入学時期は4月・10月の年2回です。

4月入学

出願期間

2月1日 ~ 4月10日

10月入学

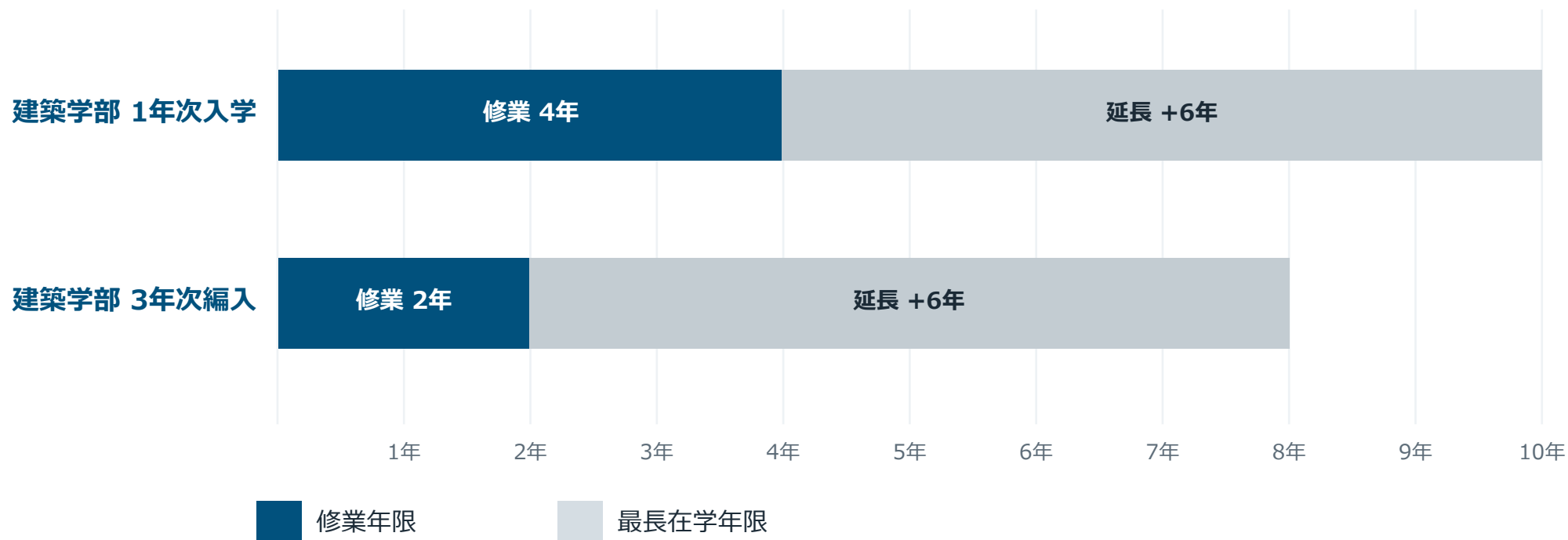
出願期間

8月1日 ~ 9月30日

※ 年度により変わる場合があります。

在籍期間と在籍延長

建築学部は4年制。修業年限のあとも、最長在学年限まで在籍を延長できます。



在籍延長料 6カ月:15,000円 1年:30,000円

※ 学費の納入は修業年限まで。留年制度はありません。最長在学年限の詳細は入学要項をご確認ください。

06

施設・サポート・サービス

一人にしない学修サポートと、充実の施設・サービス。

一人で頑張らない学修サポート

仲間や大学とつながって学べる

WEBでの学習相談から、各地での学習会・学生交流会まで。
一人にならず、学びを続けられる仕組みを用意しています。



WEB学習相談会



学習会



学生交流会

在学中にご利用できる施設

キャンパス・施設を利用できます。



東大阪キャンパスの最新施設

中央図書館・アカデミックシアター・英語村 E³ [E-cube]



各キャンパスの図書館

全国のキャンパス図書館を利用可能
(医学部を除く)



就職支援

キャリアセンターでES添削・面接対策
(対象は新卒就活の正科生)

在学中に使えるWEBサービス



電子図書館

電子書籍を自宅から閲覧



大学オンライン授業用
番組ライブラリー

NHKスペシャル・プロジェクトX等を視聴



電子ジャーナル

学術論文・雑誌を閲覧



Office 365

Word ・ Excel 等を在学中無償



Amazon Prime Student

送料無料・Prime Video 等を学割で利用

お問い合わせ

 近畿大学 通信教育部

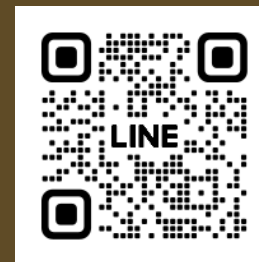
 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

 tsushin@kindai.ac.jp

 <https://www.kindai.ac.jp/tsushin/>

※ 出願の前に、必ず「入学要項」をご確認ください。
最新の日程はホームページをご覧ください。

公式SNS



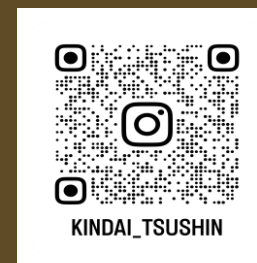
LINE



X



Facebook



Instagram



YouTube



TikTok

CNN Café

FAQ

よくある質問

出願前に、確認しておきたいこと。

よくある質問 ① 学び方・資格

出願前に、確認しておきたいこと。

学び方

Q 完全オンラインで卒業できる？

A 履修科目の選び方だけで、通学ゼロ・オンラインのみでも卒業をめざせます。設計演習はSO（全オンライン）も選べます。ただし対面のための科目（健康スポーツ科学の実技・韓国語など）を選ぶ場合は会場参加が必要です。

Q 構造力学など難しい科目は？

A 数式を用いる科目はオンデマンド授業（動画）で解説。何度も繰り返し視聴でき、理解が深まります。

資格・スキル

Q 一級建築士の受験資格は取れる？

A 卒業すれば自動で、ではなく、卒業+指定科目60単位以上の修得で受験資格が得られます。実務経験なしで受験でき、合格後に実務2年以上で登録できます。

Q 製図やCADは学べる？

A 手描き製図・模型制作に加え、AutoCAD・Rhinceros（CAD/3D）を演習で習得します。

よくある質問 ② 入学・費用・サポート

出願前に、確認しておきたいこと。

入学・費用

Q どんな人が学んでいる？

A 10代～70代と幅広く、3年次編入の平均年齢は38.2歳。
働きながら学ぶ方が多数です。

Q 学費はどのくらい？

A 1年次入学は4年で約125万円、3年次編入は2年で約68万円。
通信制大学トップクラスの安さです。

機材・サポート

Q 必要な機材は？

A 推奨スペックのPC・Webカメラ・マイク、製図板・製図用具・模型用具など。
すでにお持ちなら購入不要です。

Q 学習で困ったときは？

A 学修質疑・WEB学習相談会・学習会・学生交流会などで相談できます。

よくある質問 ③ 学び方・両立

出願前に、確認しておきたいこと。

学び方

Q 完全オンラインで卒業できる？

A 履修科目の選び方だけで、通学ゼロ・オンラインのみでも卒業をめざせます。ただし対面のための科目（健康スポーツ科学の実技・韓国語など）や、対面を選んだ製図演習（SF）は会場参加が必要です。

Q 建築の初心者でもついていける？

A 基礎から学べます。製図・構造力学・CADなどは継続的な学習が必要ですが、オンデマンド授業の繰り返し視聴や学修相談を活用できます。

両立

Q 仕事をしながら、編入の2年間で卒業できる？

A 可能です。ただし計画的な学習時間の確保が必要で、特に課題提出・試験・スクーリングの前は学習時間が増えます。

よくある質問 ④ 費用・出願・スクーリング

出願前に、確認しておきたいこと。

費用

Q CADソフトは自分で購入が必要？

A CAD演習で使うAutoCADは在学中無償です。Rhinocerosは該当科目を履修する場合のみ必要（39,600円）。MacでもOK、Webカメラ・マイクは必須です。

Q 編入で2年間で卒業できなかった場合は？

A 在籍を延長できます（留年制度はありません）。延長料は半年15,000円、1年30,000円です。

出願・スクーリング

Q 入学後にコースは変更できる？

A 入学後のコース変更はできません。
ただし、他コースの科目は「追加履修」で学べます。

Q スクーリングを欠席したらどうなる？

A 全日程を欠席した扱いとなり、次回開講時に再度申込み・受講します。事前課題が未提出だと2・3日目に参加できません。
落とすと卒業時期に影響することがあります。